東亜ディーケーケー株式会社

平成27年3月期決算説明資料

（東証1部：6848）

平成27年5月

1. 会社概要

2. 平成27年3月期決算

3. 平成28年3月期業績予想

4. HYBRID経営計画

Copyright(c) DKK-TOA CORPORATION

本体＋グループ6社で構成

会社名	東亜ディーケーケー株式会社
代表取締役社長	佐々木　輝男
URL	http://www.toadkk.co.jp/
所在地	東京都新宿区高田馬場一丁目29番地10号
設立	1944（昭和19）年9月19日
従業員数	連結 589名　単独 352名（平成27年3月末現在）
業績	売上高140億円　経常利益12．8億円　（平成27年3月期・連結）
事業内容	計測機器事業・不動産賃貸事業
営業拠点	札幌　仙台　筑波　千葉　横浜　静岡　名古屋　大阪　岡山　広島 山口　高松　北九州　長崎
資本金	18億4，284万1千円　（平成27年3月末現在）
連結子会社	山形東亜DKK　岩手東亜DKK　アリス東亜DKK　東亜DKKアナリティカ バイオニクス機器　東亜DKKサービス

Copyright(c) DKK-TOA CORPORATION

経営理念・経営方針

経営理念
（MISSION）

『誠実・創造・挑戦』をモットーに**地球環境保全**と
豊かで人にやさしい社会環境の実現に貢献します

経営方針
（VISION）

“**環境開発型企業**としての技術立社”をめざし、
卓越した独自技術である“**電気化学センサ技術**”の
更なる研究と新たな製品開発による社会貢献を行います

Copyright(c) DKK-TOA CORPORATION

水・大気・ガス・医療関連の総合計測機器メーカー

・創立以来のpH計、電気伝導率計などの保有技術は幅広い用途を持つ
・機器販売からアフターサービス（保守・修理）までの重層な技術を提供

環境・プロセス分析機器

法規制に対応した環境用水質及び大気の監視、安心・安全でおいしい水道水の供給、そのほか水処理を必要とするあらゆる業界の生産品質管理プロセスに導入されています。

pH計変換機

水道水用自動測定装置

全窒素全りん計

PM2.5測定装置

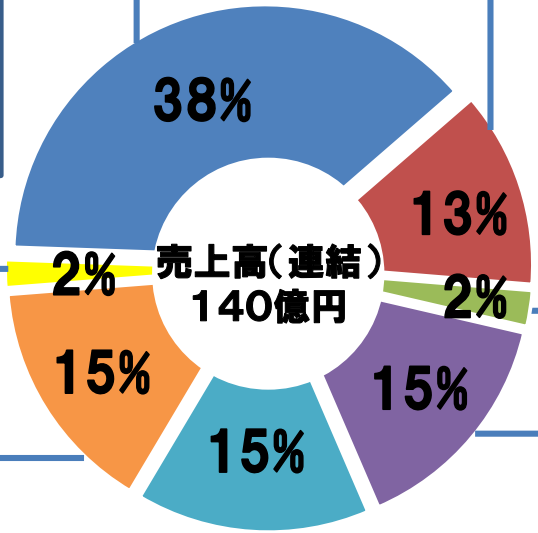
科学分析機器（医療関連機器を含む）

大学や試験研究機関、製造現場、化学、製薬、食品、農業等あらゆる場所の水質測定に使用されているほか、人工透析や臨床検査分野にも使用されています。

pHメータ

電気伝導率計

透析用薬剤溶解装置



不動産賃貸事業

東京都新宿区の本社に隣接して賃貸ビル1棟、埼玉県狭山市に貸店舗1棟ほかを所有し、不動産賃貸事業を行っております。

産業用ガス検知警報器

ガス貯蔵場所、製造ラインの可燃性ガスや有毒ガスの漏洩を連続監視し安全な作業環境を提供しています。

ガス検知器

部品・その他

保守・修理

電極・標準液

Copyright(c) DKK-TOA CORPORATION

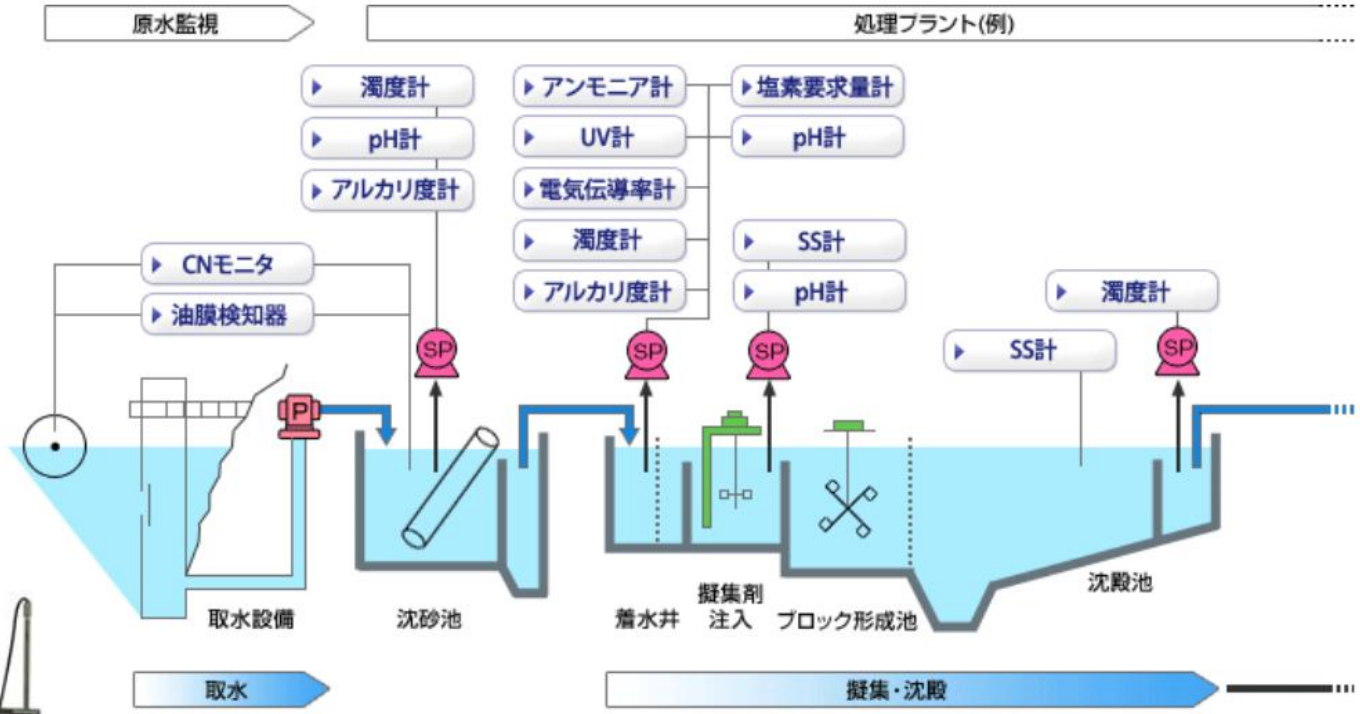
社会インフラを支える「生命線」

（例1） 浄水処理で使用される計器

pH計

油膜検知器

UV計



残留塩素計

SS計

Copyright(c) DKK-TOA CORPORATION

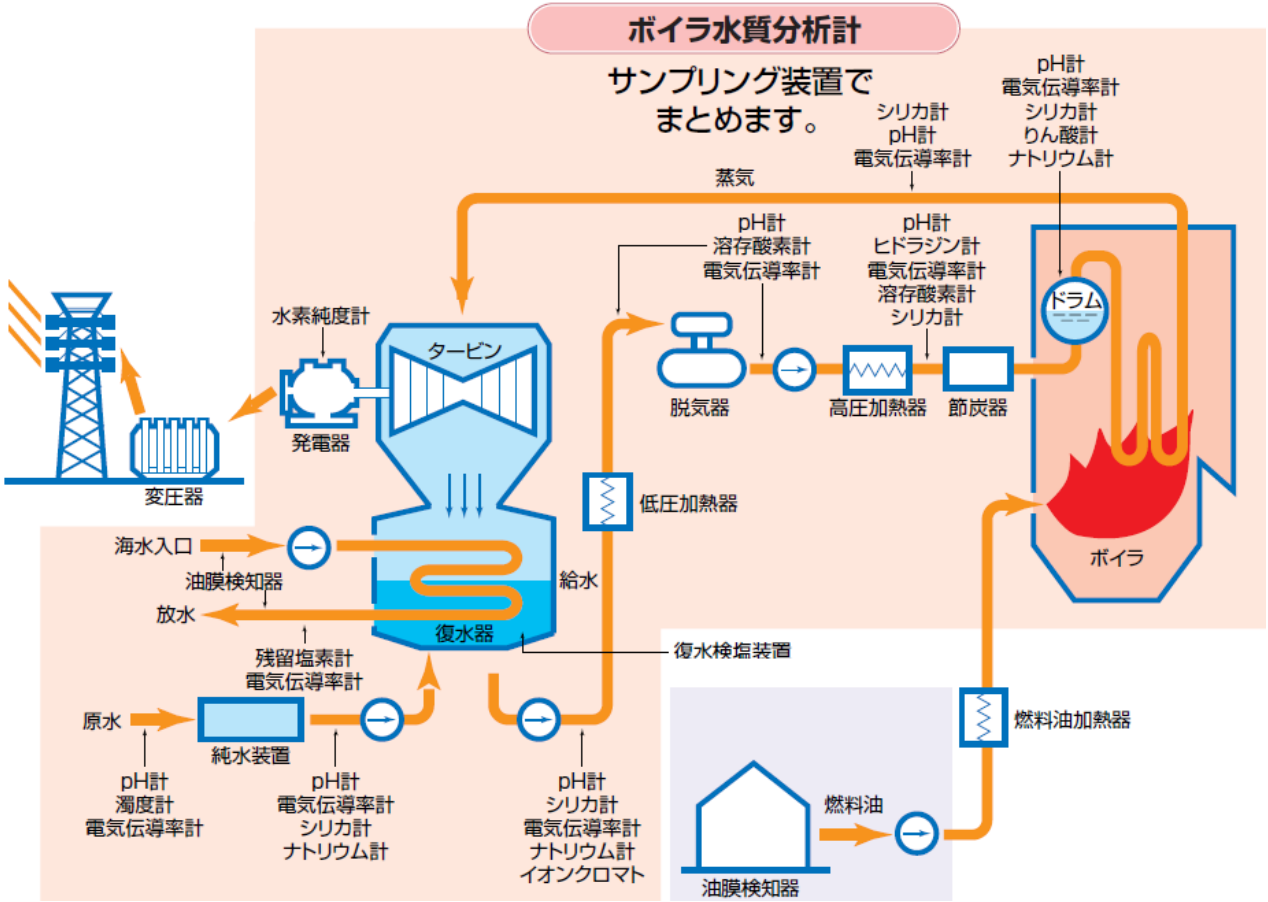
社会インフラを支える「生命線」

（例2）火力発電所で使用される計器

pH計

電気伝導率計

復水検塩装置



排ガス分析計

シリカ計

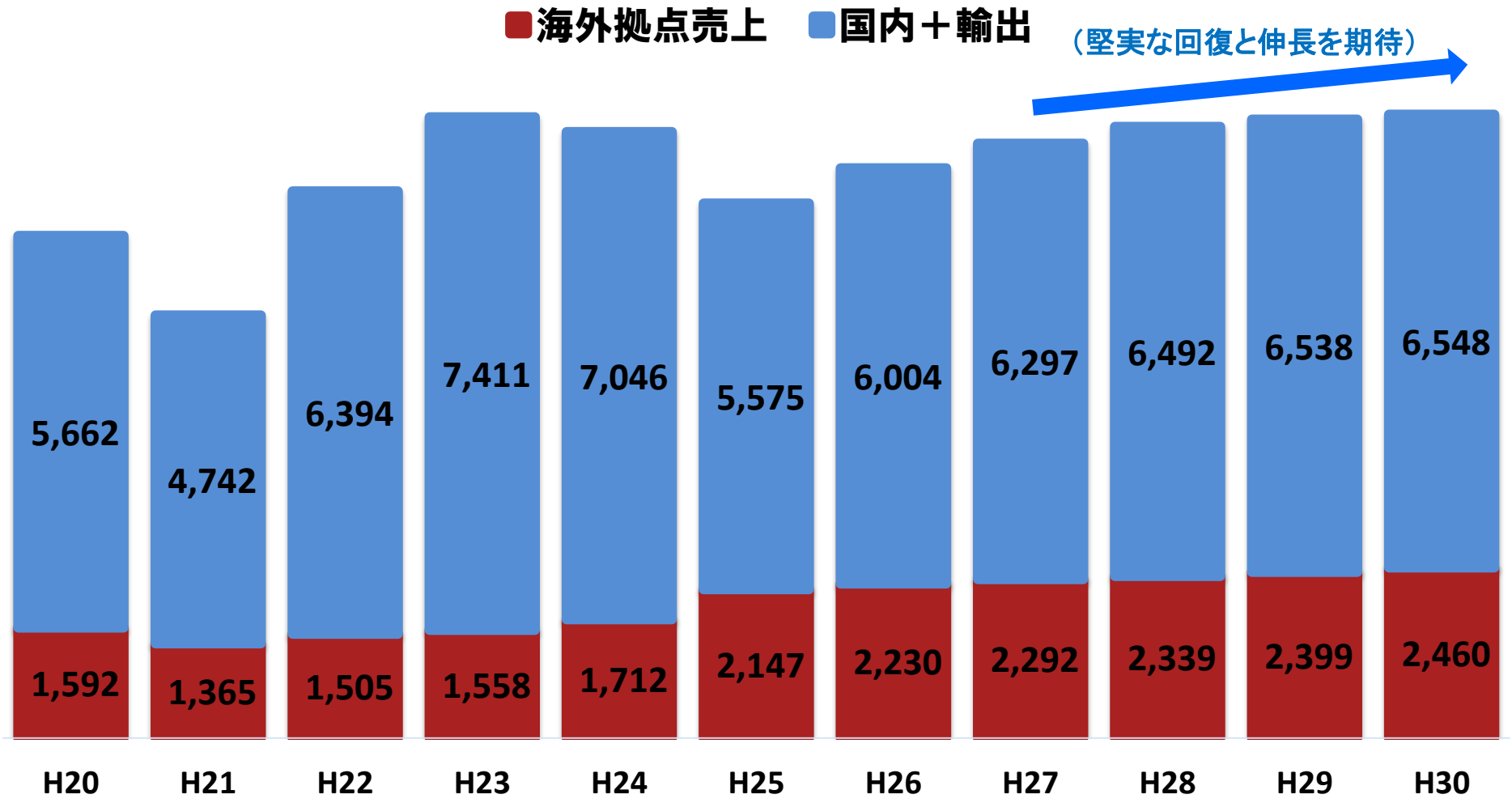
火力発電所の水質管理と環境保全をバックアップします。

Copyright(c) DKK-TOA CORPORATION

電気計測機器市場：近年は安定成長

電気計測器売上高推移

（単位:億円）



※H27年度以降は予測値　　出所：一般社団法人　日本電気計測器工業会

Copyright(c) DKK-TOA CORPORATION

当社の強み（お客様の満足度向上と優先の経営姿勢）

お客様は、官需・民需共に全国津々浦々でご採用。そのお客様の声に真摯に耳を傾け「お客様優先の経営姿勢」と「満足度の向上」への営業・サービス一体型の重層なネットワークを完備し実践していることが強みと心得ています。

① お客様接近型の営業販売拠点を設置

② お客様満足型の直系技術サービス網

③ お客様対話型の全国的代理店販売網

④ お客様密着型のサービス会社と提携（55社）

⑤ お客様優先型の苦情処理（VOC）の即応体制完備

Copyright(c) DKK-TOA CORPORATION

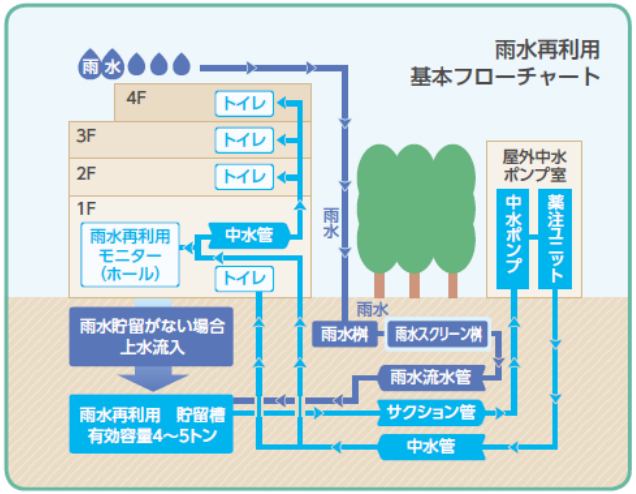
開発研究センターの紹介

開発研究センターは、環境負荷を低減するエコ設計を採用しており、当社の環境保全への社会貢献を象徴する施設として、新たな計測技術の研究と開発に取組んでいます。

太陽光発電システム・雨水利用システム

4階テラス部分には年間15,000kwhの発電が可能な太陽光パネルを設置しているほか、「中水道」と呼ばれる雨水を溜め、給水時に滅菌処理を行い、圧送ポンプでトイレに給水するなど、衛生管理に留意しています。

雨水利用水の水質を当社製品MWB4でモニター表示。また、センター入り口に太陽光発電による発電量をリアルタイムで表示しています。



EMC試験室

大気環境試験室

環境大気測定用
コンテナ局舎

Copyright(c) DKK-TOA CORPORATION

平成27年3月期 決算サマリー

（単位:百万円）

	26.3 実績	27.3 実績	前期比増減		通期計画
			金額	%	
売上高	13,923	14,066	142	1.0	14,440
営業利益	1,310	1,265	△44	△3.4	1,430
経常利益	1,357	1,287	△70	△5.2	1,460
当期純利益	881	759	△122	△13.9	950
減価償却費	409	506	97	－	－

- 当社の主たる事業の計測機器事業は、緩やかな景気回復を反映し、関連設備投資も比較的堅調な推移しました。しかし、意外な程厳しさが残り、企業間の競争激化もあり、売上高は前期比で微増に止まりました。
- 利益面では急激な為替変動による円安が続いていることから、輸入製品販売の多額の仕入れコスト高をもたらし、加えて、中期的な合理化施策の新基幹システムの減価償却費増と戦略的海外市場開拓活動費などの経費も重なり、併せて、平成27年度税制改正に伴う繰延税金資産の取崩しも影響しましたが、前期に減収となった不動産賃貸事業の業績回復があり、一定の利益は確保したものの、減益になりました。
- 単月黒字化67ヶ月連続記録更新中（平成21年9月～）

Copyright(c) DKK-TOA CORPORATION

（注）金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

平成27年3月期決算（対前期比）

計測機器事業

売上高13,812百万円（+0.2%）、セグメント利益1,864百万円（△8.3%）

- 国内では、官公庁向け上下水道用分析計が好調裡に推移したほか、海外では、中国を始めとするアジアを中心に環境用水質分析計が寄与。医療関連機器では、消費税増税前の駆け込み需要の反動で減少しましたが、全体では増収となりました。
- 利益面では、急激な円安による輸入製品販売のコスト高や海外販売経費の増加、中期的な合理化施策の新基幹システム導入に伴う減価償却費負担増により減益となりました。

不動産賃貸事業

売上高253百万円（+76.2%）、セグメント利益146百万円（+197.4%）

- 前期に本社隣接の賃貸ビル（TDビル）において、1棟貸しテナントが退去したものの、現在では満室となり、増収増益を確保しました。

Copyright(c) DKK-TOA CORPORATION

平成27年3月期　売上高分類

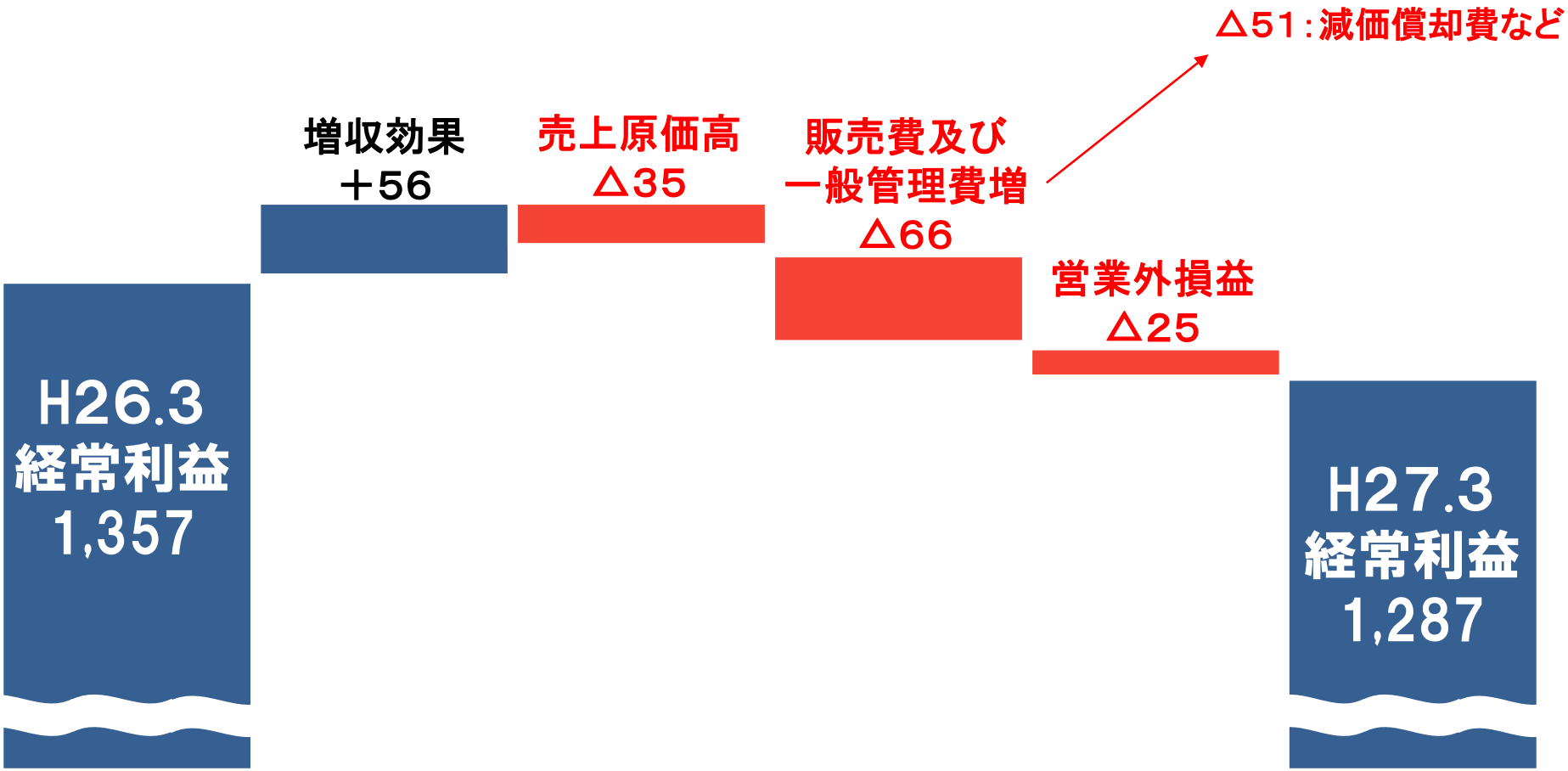
（単位:百万円）

		26.3 実績	27.3 実績	前期比増減	
				金額	%
計測機器事業	環境・プロセス分析機器	5,044	5,356	311	6.2
	科学分析機器	1,977	1,780	△197	△10.0
	産業用ガス検知警報器	393	327	△65	△16.8
	電極・標準液	2,181	2,096	△84	△3.9
	保守・修理	1,881	2,112	230	12.2
	部品・その他	2,300	2,139	△160	△7.0
	合計	13,779	13,812	33	0.2
不動産賃貸事業		143	253	110	76.2
合計		13,923	14,066	142	1.0

Copyright(c) DKK-TOA CORPORATION

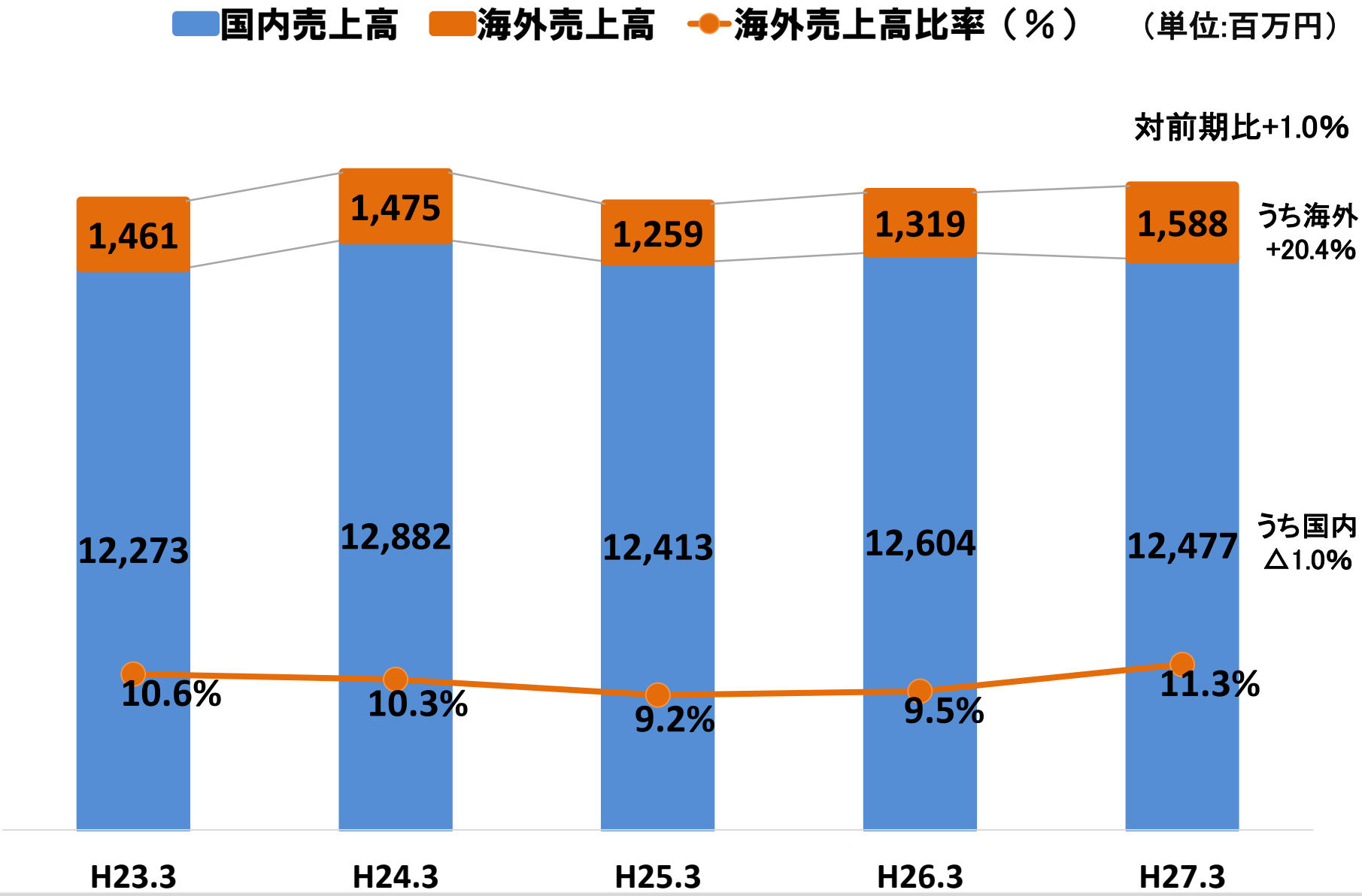
経常利益増減分析

（単位：百万円）



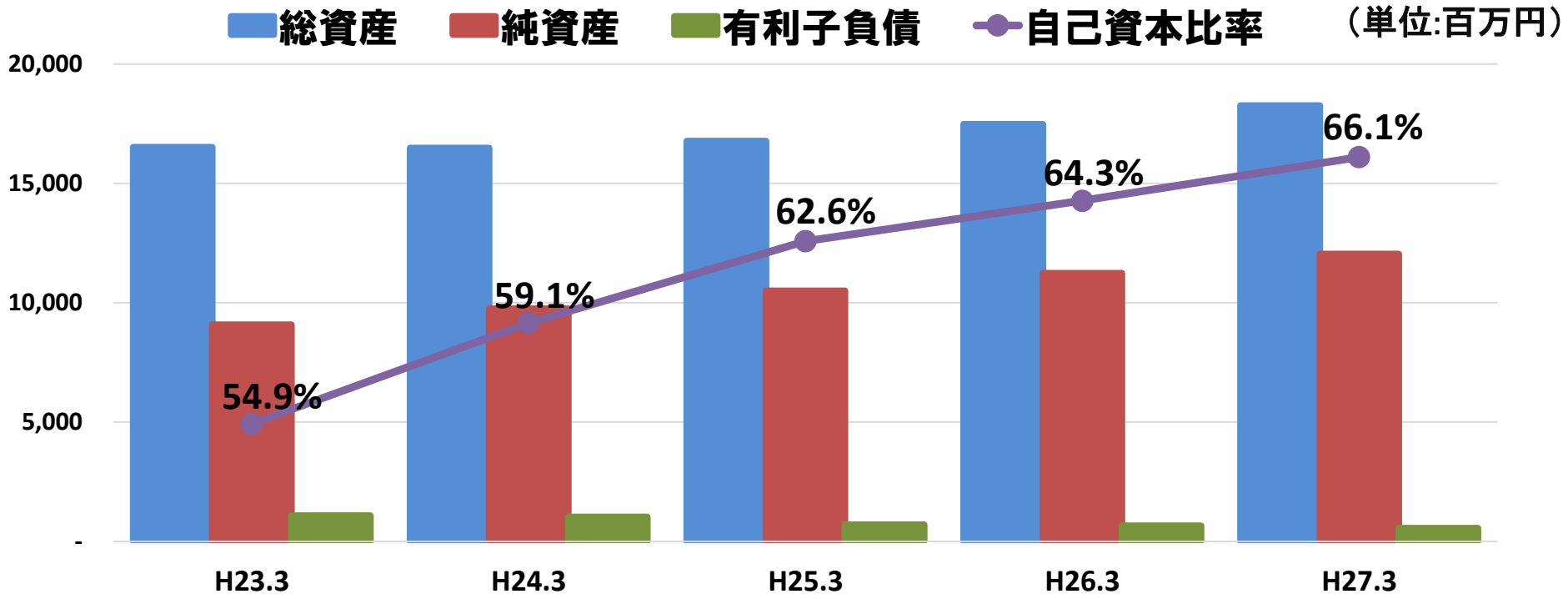
Copyright(c) DKK-TOA CORPORATION

国内・海外売上高推移



Copyright(c) DKK-TOA CORPORATION

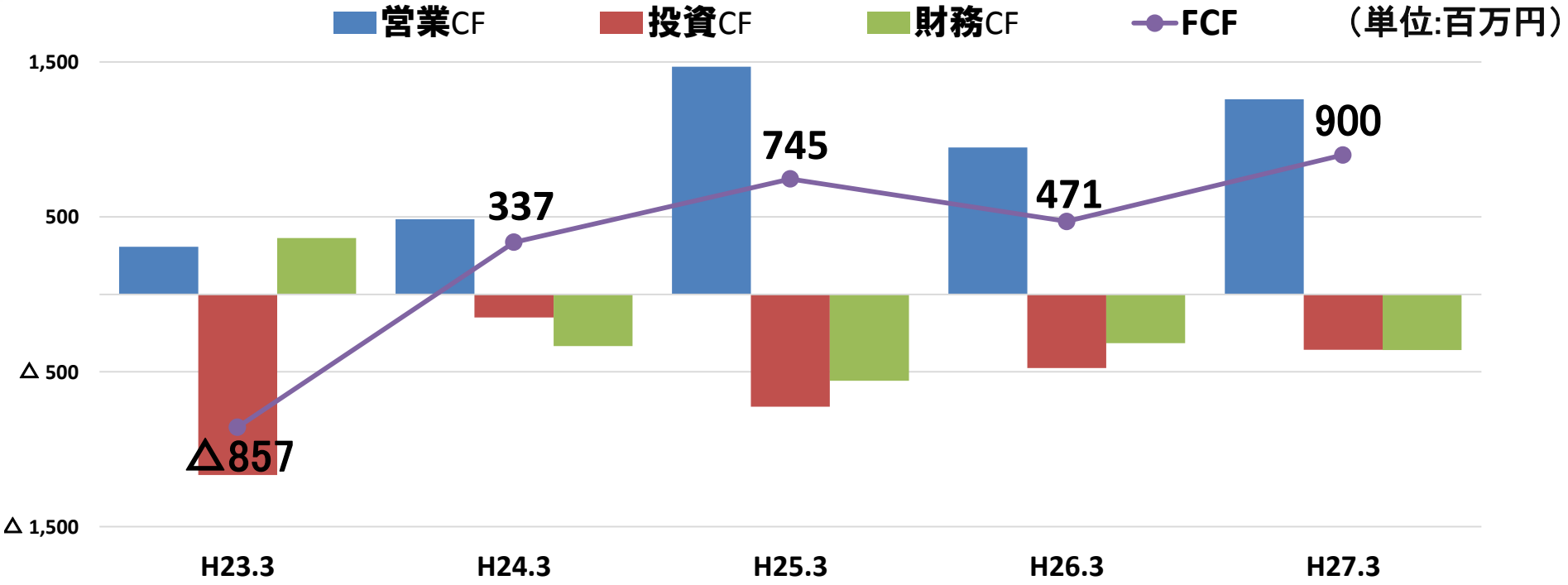
財務状況



	H23.3	H24.3	H25.3	H26.3	H27.3
総　資　産	16,512	16,477	16,769	17,469	18,220
純　資　産	9,069	9,745	10,494	11,228	12,038
借　入　金	1,023	948	650	619	556
自己資本比率(％)	54.9	59.1	62.6	64.3	66.1

Copyright(c) DKK-TOA CORPORATION

キャッシュフローの状況



	H23.3	H24.3	H25.3	H26.3	H27.3
営 業 C F	308	486	1,470	948	1,259
投 資 C F	△1,166	△149	△725	△476	△358
F C F	△857	337	745	471	900
財 務 C F	364	△334	△557	△314	△360

Copyright(c) DKK-TOA CORPORATION

トピックス

創立70周年記念式典・社会活動促進寄付金贈呈式を開催

平成26年11月13日、都内ホテルにて、山形県知事をはじめとするご来賓の方々や長年ご支援いただいているお取引先様など約350名をお招きし、「創立70周年記念式典及び謝恩パーティ」を開催いたしました。

式典では「がんばろう東北“夢と絆”」をコンセプトに、生産子会社のある山形県、同新庄市、岩手県遠野市の関係自治体に対して、東日本大震災の復興支援並びに社会活動貢献の一環として、「社会活動促進寄付金」を贈呈いたしました。

当社はこれからも継続して地域振興と活性化に貢献してまいります。

ご来賓の方々と当社役員による鏡開きでスタート

山形県　吉村知事に「やまがた社会貢献基金」を贈呈

新庄市　山尾市長に「新庄市ものづくり教育奨励基金」を贈呈

遠野市　本田市長に「日本のふるさと遠野応援寄付金」を贈呈

Copyright(c) DKK-TOA CORPORATION

トピックス

中国市場への販売強化を推進

中国大使館劉亜軍公使ご一行様 山形東亜DKKご来訪

平成26年12月19日、駐日中国大使の劉亜軍公使ご一行様が山形東亜DKKを視察され、環境保全技術を中心とする交流会を開催して意見交換を行いました。この視察は、劉公使が創立70周年記念式典にご来賓としてご出席を機に生産工場の公式視察を希望されたことから実現したものであり、同工場での部品加工から組み立て調整までの一貫生産の工程ラインをご覧いただきました。これからも同大使館との交流を深めて日中友好促進に寄与し、中国でのビジネス拡大に努めてまいります。

重慶市経済貿易代表訪日団ご一行様 開発研究センターご来訪

平成27年3月14日、中国・重慶市経済貿易代表訪日団ご一行様(団長 重慶市九竜坡区商務局 李副局長)が駐日中国大使館書記官のご案内で開発研究センターと狭山テクニカルセンターを視察されました。重慶市は、当社の中国戦略にとって重要な都市です。今回のご来訪は、日本における環境保全技術のリーディングカンパニーである当社を駐日中国大使館筋が推奨され実現したもので大変名誉なことです。今後も技術交流の開催など関係を深めていきたいと考えております。

平成28年3月期業績予想

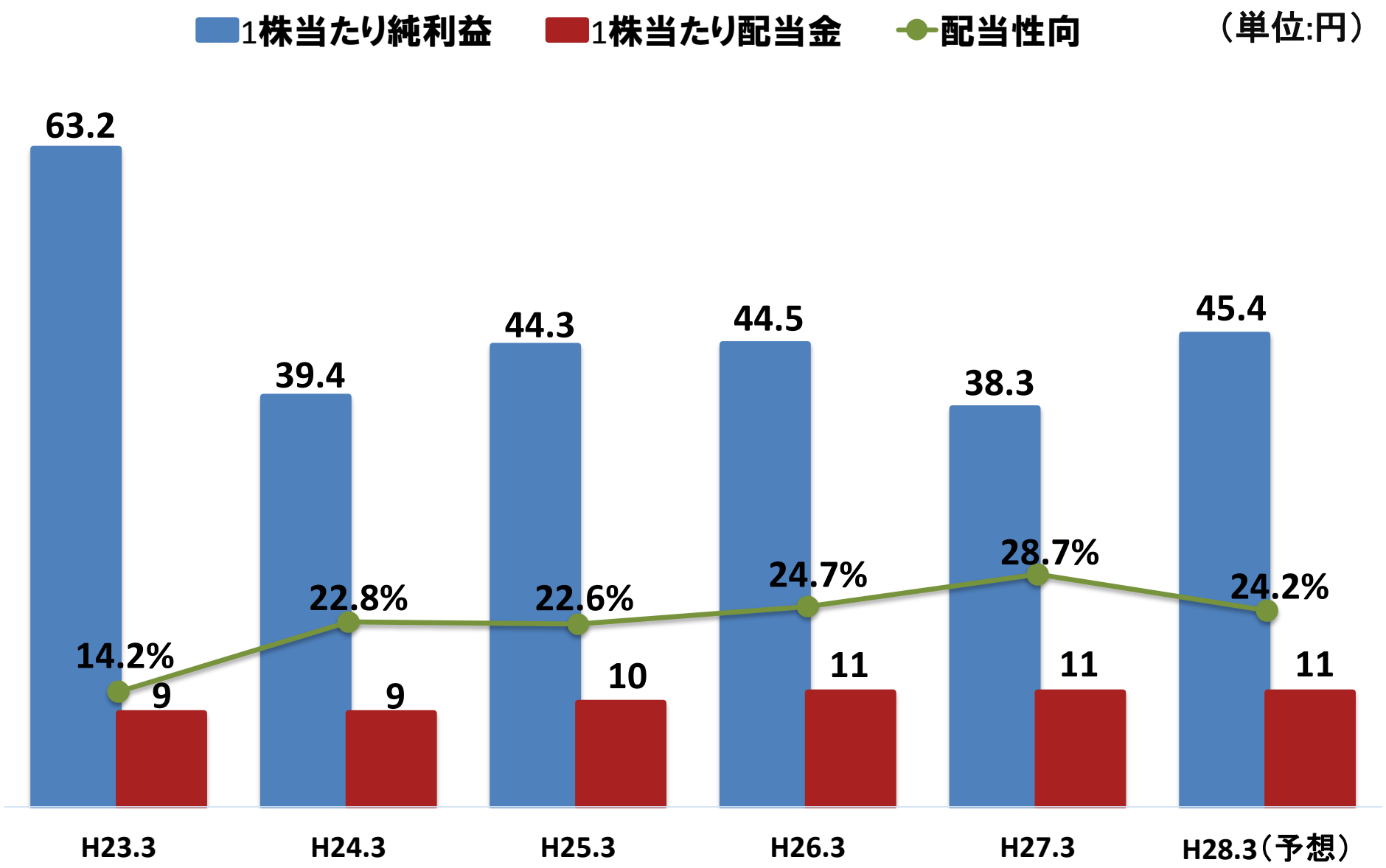
主力の環境・プロセス分析機器は、環境省第5次水質総量規制時に導入した機器の更新需要が本格化するとともに、消費税増税に伴う駆け込み需要の反動減の影響を受けた医療関連機器分野の需要回復が見込まれ、海外では中国を始めとするアジアを中心とした海外の環境意識の高まりに伴う計測機器需要の増加が期待され、適切な営業戦略を展開中であることから、良好な事業環境と予想しております。

（単位:百万円）

	27.3 実績	28.3 予想	前期比増減	
			金額	%
売上高	14,066	14,400	334	2.4
営業利益	1,265	1,300	35	2.8
経常利益	1,287	1,320	33	2.5
当期純利益	759	900	141	18.5

Copyright(c) DKK-TOA CORPORATION

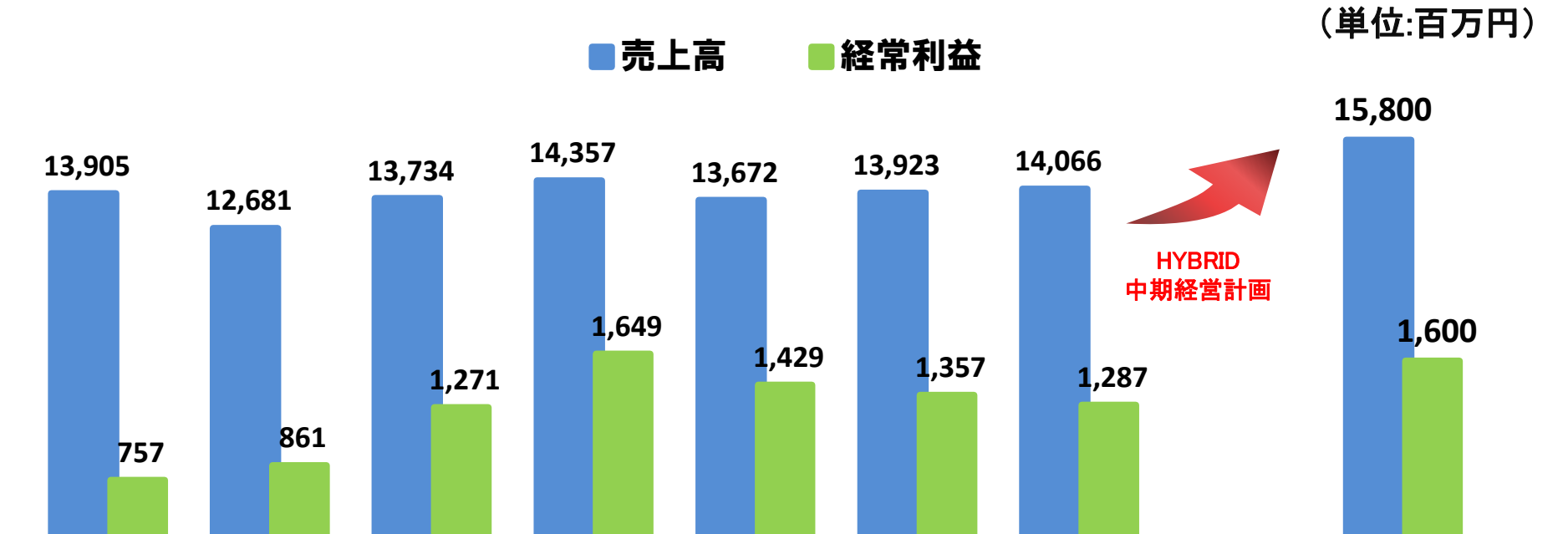
株主還元



Copyright(c) DKK-TOA CORPORATION

HYBRID経営計画（平成27年4月～平成30年3月）

当社は、「誠実・創造・挑戦をモットーに地球環境保全と豊かで人にやさしい社会環境の実現に貢献します」という経営理念の下、「収益基盤の拡大」と「強固な財務体質の確立」に向けて、更なる成長の実現を図りながら、全てのステークホルダーのご期待に応え、グループの持続的な発展と企業価値向上を目指します。



Copyright(c) DKK-TOA CORPORATION

過去5年間の総括

評価・成果

1. 東京証券取引所市場第一部に上場
2. 単月黒字化67ヶ月連勝記録更新
3. 首都圏向けMWB4の大口受注
4. 平均売上高経常利益率 10% 達成
5. 財務健全化（自己資本比率60%台）
6. 平均ROE 8% の達成

現状と課題

1. 海外ビジネス強化と海外輸出不調
2. 新製品革新率と開発期間1/2化未達
3. 急激な円安により収益を圧迫

中計目標

1. 中国、アジアでの販売力強化、国際プレゼンス向上、海外売上高比率15%以上（営業）
2. 開発期間1/2化、新製品革新率25%に拡大（開発）
3. 独自設備の開発による生産技術力で海外勢に負けないコスト競争力を獲得する（生産）
4. 外部不良の低減、開発認定の精度アップ（品質）
5. 女性管理職拡大・若手の活躍等、ビジネス知力の高い人財を育成（管理）

Copyright(c) DKK-TOA CORPORATION

重点施策・財務KPI

（1）海外ビジネス拡大に対応した幹部強化及び増員と教育（営業）

（2）開発期間1/2化と新製品革新率25%（開発）

（3）幹部社員の人材育成強化を目的とし、
定期的に改革発表チャンピオン大会を逐次開催（経営全般）

（4）部門間の情報共有とコスト・設計レビューの充実（品質）

（5）女性・シニア・若手の活躍等、ビジネス知力の高い人財育成（管理）

平成30年3月期　目標財務KPI

（1）海外売上高比率15%以上

（2）新製品革新率25%以上 ※新製品革新率：新製品・モデルチェンジ製品の売上貢献率　対象期間：発売から3年間

（3）棚卸資産回転率10回転以上

（4）売上高経常利益率10%以上

（5）ROE（自己資本利益率）10%以上

Copyright(c) DKK-TOA CORPORATION

ご注意とお願い

1. 本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。

2. 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。

3. 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。

4. 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。

5. 本資料は、投資家の皆様がいかなる目的にご利用される場合においても、お客様ご自身のご判断で責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任は負いません。

＜お問い合わせ＞
東亜ディーケーケー株式会社
企画総務部　企画・IR課

電話：03-3202-0242
メール：ir@toadkk.co.jp
URL：http://www.toadkk.co.jp/

Copyright(c) DKK-TOA CORPORATION